



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

ROTARY: MANKIND IS OUR BUSINESS

「ロータリー：人類が私たちの仕事」

2001～2002年度・国際ロータリーテーマ／リチャード D. キング会長

「ロータリーの心を伝えよう―家庭に、職場に、地域に―」

2001～2002年度・東京新南ロータリークラブテーマ／大日方 真会長

本日の例会 2002年5月31日 第748回例会
卓話

「人口減少の経済学」

財務省 財務総合政策研究所 次長 原田 泰 氏

卓話 イニシエーションスピーチ (5月24日例会)

「すし屋の”むらさき”が・・・」

株式会社松浦巖生デザイン事務所
代表取締役アートディレクター
当クラブ会員
松浦 巖生



先週報告 5月24日 第747回例会

◎会長報告

- ① R I 第2ゾーンコーディネータ松原 一氏(地区パストガバナー)より、「ロータリー・家庭の意義委員会」の資料を頂きましたので、皆様のボックスへお配りしました。
- ② 加来ガバナーより、5月11日の「地球環境フォーラム2002 文明＝光と陰」に参加したことに対して、お礼状を頂きました。

◎社会奉仕委員会報告(村山委員長)

15周年記念事業の一環である「アイメイト新南4号募金」は本日までで、1,288,000円集まりました。目標の150万円までもう少しです。皆様のご協力をお願いいたします。

◎雑誌委員会報告(庄司委員長)

「ロータリーの友」6月号P13に「宮古湾海戦」という記事があります。戊辰戦争終結までの知られざる歴史の1コマが、詳細に記載されています。

◎慶事披露 誕生日祝／四分一 勝君(5月29日)

◎出席報告 会員68名／出席44名・欠席24名(出席規定免除者10名) ビジター3名



5月24日／12件31,000円
2001～2002年度累計1,500,000円
多額の御寄付を有難うございました。

田辺賢三／体調を崩し、永い間欠席しましたが5ヶ月ぶりに、例会に出る事ができ幸せです。開発英基／松浦さん、スピーチのスケジュールで無理を言い、すみませんでした、今日は頑張ってください。清原元輔／松浦さん、今日のイニシエーションスピーチ楽しみにしています。小原さんニコニコ御苦勞様です。馬場一廣／久しぶりに田辺さんが出席されてほっとしました。ジョン・チャヌ／新会員パーティー開いていただいでも有り難うございました。松浦さんのイニシエーションスピーチ、期待しています。吉田用親・吉岡琢磨／今週火曜日の次年度理事・役員委員懇親会、皆さん出席ありがとうございました。松浦さん、卓話楽しみにしています。山川政樹／「なんで今日はこんなに少ないの！」との小原さんの声を聞きました。河原勢自／荒木・小杉眞史・石井の皆さん、色々お世話になりました。石井謙次／娘が、先週結婚しました。加藤昌明／ニコニコに協力いたします。小原健／久しぶりのニコニコです。ご協力ありがとうございました。

本年1月11日に、入会させて頂きました松浦です。僕は、宣伝広告の企画・制作会社を赤坂で開いております。分野はグラフィックデザインで新聞広告・雑誌広告・カタログ・シンボルマーク等を企業の方々と一緒に創るのが仕事です。また、TVコマーシャルの企画も行っており、これは制作プロダクションと組んで行います。仕事は直接の依頼と広告代理店よりのものと大きく分けて2タイプの流れがあります。

さて、スピーチの題を「すし屋の”むらさき”が・・・」としましたのは、僕が人生の諸先輩との出会いの出来事をお話したいと思ったからです。それは一瞬の思い出です。

ある日、友人が美味しい寿司をご馳走すると言うのでホテルの寿司屋で逢いカウンターで食べ始めたところ、隣に雰囲気のある紳士が座りました。ちょうど夏だったものですから、僕は白いスラックスをはいておりました。そして、隣の紳士が”一かん”口に運んだ時、一滴の”むらさき”つまり”醤油”が僕の白いスラックスにポツン！と、あつと言う間に親指ほどに広がったのです。その方の対応の早さと凄さ。思わず尻込みをしてしまいました。それ以来、その紳士とのお付き合いが始まりました。ある日、その方の知人を紹介するということで、また寿司屋に行きました。サントリーのSさん、日産のIさん、三菱のNさん、オータニのOさんでした。このときから先輩たちとご一緒させて頂き、ご馳走になったりアドバイスを受けたりが続き、この若造がといて可愛がっていただきました。最終的には、株主にもなっていました。

一滴の醤油から、こんなふうになるなんてとても信じがたいのですが、この現実を大切にして僕は、人との出会いを大事にしていきたいと思えます。今年に入って新しく先輩の皆様とお会いでき、僕の人の輪が又広がりました。このチャンスを与えて下さった武下さん、吉岡さんそしてロータリアンの皆様に感謝いたします。僕は、物創りの技を仕事としていますので、世の中のお役に立てる「わざ師」であるようこれからも精一杯精進して行きたいと思っております。ありがとうございました。

次週予告 2002年6月7日 第748回例会

第4回クラブセミナー

(ロータリー情報委員会)

第5分科会／国際奉仕部会 次期国際奉仕委員長 山根 一剛

国際奉仕部会では、石坂国際奉仕委員長から、ボトム・アップ・アプローチの理念を尊重し、各クラブの自発性、自主性に基づく独自プロジェクトを持ち、国際奉仕活動の推進と援助を願いたいとの基本方針が述べられた。

千葉世界社会委員長からは、世界各地又はR Iからの要請による災害援助に対する取次、援助プログラム、各クラブのプログラム立案に対する助言、相談等が委員会の役割であると説明があった。更に、国際親善委員会からPBグループとの交流の成果等話された。

具体的な部会活動の方針と計画については、バギオ基金、日韓青少年短期交流プログラム、G S E等につき説明が行われた。最後に、「地区指導でなく、クラブの自主性によるプロジェクトの立ち上げと実績が見えてきた。PBとの交流が盛んになりつつあり、大変喜ばしい」との加来国際奉仕カウンセラーの講評で終了した。

第6分科会／新世代部会 次期新世代委員長 四分一 勝

新世代部会はプログラムが多岐にわたり、又、10歳～30歳迄の青少年を対象にした、教育的見地に立った内容になっており、ロータリーが目指すプログラムとして全世界が取り組んでいる大変肝要なものである。しかし、ロータリアン数の減少により大きな影響が出てきている。例えば、10年前は世界で年間7,000人の規模だった青少年交換留学生が、現在は6,000人に減少している。インターアクト、ローターアクトも元気がない。次年度はこれらの事項についても検討していく考えである。

又、次のような新規プログラムに取り組んでいく計画も盛り込まれている。「新世代のためのロータリー・プログラム(手続要覧第8章)」 「心の東京革命(東京都が唱えている心の東京革命運動)に賛助会員として協力」「新世代のボランティア団体への支援と交流」「青少年問題:東京少年友の会との協力」

第7分科会／ロータリー財団分科会

次期国際奉仕委員長 小原 健

〈岡本地域コーディネーター〉国際ロータリーとロータリー財団との関係の説明。2005年までにボリオを絶滅させるための行動の必要性を強調。〈岩井地域コーディネーター〉「国際問題研究のためのロータリー・センター」につき解説。ロータリー世界平和奨学生として大学院で2年間勉強してもらうプログラム。財団のもっとも重要なプログラムであるとのこと。〈その他〉財団の一般的事項につき、それぞれ解説。〈質疑〉(問)「百万ドルの食事は、どうなっているか。」(答)「今はやっていない。毎年百ドルの寄付を約束する財団の友になることを、むしろ奨励してほしい」/ (問)「国際ロータリーは、昨年度1,380万ドルの赤字を出している。原因と責任は。」(答)「投資の失敗による。従来、ハイリスク・ハイリターンで成功してきたが、今後気をつけなければならない。」

第8分科会／米山奨学部会 次期国際奉仕副委員長 荻野 道雄

リーダーの矢島嗣久米山奨学委員長の挨拶から始まり、パストガバナー川尻政輝カウンセラーから米山奨学金の意義が力説された。その内容は、この奨学金制度は世界の国々には類例を見ない日本独自のものであり、ロータリアンの存在意義はまさにここにあり、というものであった。

その後、「米山との絆」というビデオで、中国、韓国二カ国の留学生の研究活動及び生活ぶりが実例として写し出され、米山奨学金の成果が披露された。なお、このビデオは事務局にあるので、積極的に活用してもらいたい。

最近の米山奨学生の募集枠は年間1,000名、累計約12,000名である。2750地区の募集枠は50名だが、今年度も2,313名の応募があった。27大学の修士・博士課程の留学生を対象に大学側で100名まで絞り込んだ後、厳選する。ただ、このところ収入が支出を下回る状況にあるので、寄付増進をお願いしたい旨が強調された。(了)

『環境フォーラム2002 文明・光と陰』に参加して

環境保全委員長 福島 賢哉

第2750地区環境フォーラムが5月11日(土)午後、国立オリンピック記念青少年センターのカルチャー棟ホールで開催された。対象は各クラブの社会奉仕、環境保全委員会の関係者で地区から550名もの参加があり、当クラブから大日方、村山、荻野、土屋、福島の前5名が出席した。

有史以来人類が文明を築きながら21世紀を迎えここ100年間程で急激に利便性、快適性が増し長足の進歩を遂げた反面、自然破壊やエネルギー枯渇、人口急増による今後の食料供給難などの弊害が顕著となってきた現状をロータリアンが正しく理解認識しようとのフォーラム。

開会の辞は地区社会奉仕委員長牟田悌三氏、挨拶に加来浩二ガバナーが登壇、その後スポーツ用具のリサイクルの実践といった視点でミズノ社長水野正人氏が、またNPOの上村雄彦氏が日常生活でのダイオキシンの毒性と環境ホルモンの問題などを身近な例を挙げながら説明。特に現状で食料の40%を廃棄しているわが国は近い将来最貧国に転落するとの話しにため息が漏れていた。黒坂黒太郎氏のコカリナの演奏を挟み、かつて米山奨学生で留学経験のある豪州フィリップ・ピーティ氏が流暢な日本語で「21世紀・企業のあり方」を講演、初めての地区環境フォーラムは、延べ4時間に及んだプログラムを好評裏に終了した。

環境問題は全人類にとって避けられない問題であり、身近なところからの環境保全・リサイクルを当クラブでも継続的に活動して行く必要があると感じた。

6月行事予定

6月はロータリー親睦活動月間です

3日(月) 2002～2003年度千代田グループ会長・幹事会
法曹会館 3F 富士の間 14:30～16:30

4日(火) 親睦ゴルフ会 相模原ゴルフクラブ 西コース
地区国際奉仕委員会研修会
メルパルク東京 3F百合の間 14:00～16:00

7日(金) 顧問会議
東京全日空ホテル 1F かすみ 例会前 11:00～12:00
本年度・次年度合同理事会
東京全日空ホテル 1F かすみ 例会後13:40～15:00

14日(金) 本年度第6回・次年度第1回クラブ協議会
東京全日空ホテル B1 オーロラ 13:10～15:00
テーマ「本年度各委員会活動報告」
「次年度各委員会活動計画」

地区会長・幹事及び地区役員合同会議
並びに打上げ懇親会

京王プラザホテル5F コンコルドボールホール 16:00～20:00

28日(金) 夜間例会・打ち上げ会
東京全日空ホテル B1 グローリー 18:00～20:00

東京新南ロータリークラブ [http://www.h3.dion.ne.jp/~newsouth]

〔会長〕大日方真 〔副会長〕谷村義雄 〔幹事〕新保國彦

〔会報委員長〕小杉真史 〔今週の担当〕岸義武

事務局／〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階 TEL: 03-3505-5976 FAX: 03-3505-6004 new-south@h9.dion.ne.jp

例会日・例会場／毎週金曜日 12時30分 東京全日空ホテル 〒107-0052 東京都港区赤坂1-12-33 TEL: 03-3505-1111